

2012年5月17日
株式会社日立産機システム

日立一般産業用インバータ「NE-S1 シリーズ」を発売 シンプル操作のエコノミータイプ

株式会社日立産機システム(取締役社長:青木優和)は、業界最小クラスの寸法でシンプルな操作性と経済性を追求した、小型インバータ「NE-S1 シリーズ」(適用モータ 0.2~2.2kW)を製品化し、2012年5月31日より単相・三相 200V 品の発売を開始します。

産業用インバータには、高機能・高性能が要求される一方で、その適用範囲の裾野が広がるにつれ、小型・シンプル・経済的なインバータが求められるようになっていきます。2011年の震災影響による電力不足からのさらなる省エネルギー気運の高まりに応えるため、特にファン・空調機器・ポンプ・食品加工機械等の省エネに要求される機能に絞り込んだ小型インバータ「NE-S1 シリーズ」を発売いたします。

<発売機種>

三相 200V 入力 適用モータ:0.2~2.2kW:5 機種
単相 200V 入力 適用モータ:0.2~2.2kW:5 機種
(三相 400V 入力近日発売)

<希望小売価格:税込(単位:円)>

NES1-002LB(三相 200V 級 適用モータ:0.2kW) 48,300 円
NES1-022LB(三相 200V 級 適用モータ:2.2kW) 97,650 円

<販売計画>

2012年度 100,000 台/年
2013年度 200,000 台/年

【「NE-S1 シリーズ」の主な特長】

1. 業界最小クラスの寸法

サイド・バイ・サイド設置が可能で、インバータを左右方向に密着して設置できるため、スペースを有効活用できます。(従来機種 X200 容積比 43%ダウン(0.2kW))

※電流ディレーティング等の条件があります。

2. シンプル操作

運転・停止・リセットを1つのボタンに集約。専用オペレータも用意しました。

3. グローバル対応

海外規格である CE/UL/c-UL/c-Tick に準拠しています。

4. ネットワーク対応

RS485 Modbus-RTU 対応した通信ポートを標準搭載しています。

5. 各種機能を継承

●自動省エネ運転

運転中、常に最少の電力消費となるように制御する自動省エネ機能を搭載しました。

●入出力端子信号の演算／遅延機能

入出力端子信号同士を演算する機能と、入出力の遅延時間を設定する機能を搭載しており、インバータ外部回路を簡略化することができます。

●オペレータ／端子台切換え

周波数指令先、運転指令先をインテリジェント入力端子の ON/OFF により簡単に切換えることが可能です。

●第2制御機能

2種類のモータを1台のインバータで切換えて運転することができます。

●始動自己保持(3-wire)機能

設定により、接点状態を保持しない押しボタン等のスイッチでも、運転および停止状態を保持することができます。

●アナログ入力断線検出機能

周波数指令が断線された時に、周波数指令がなくなったことを断線出力信号として外部に出力します。

※機能選択時はオペレータ等による設定変更が必要です。

■本件の照会先

株式会社日立産機システム ドライブシステム事業部 企画部 制御企画グループ[担当:内野、
小曾根]

〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地 AKSビル

TEL 03-4345-6072

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
